



新被覆論  
Neo Dressing Theory

**新被覆** = [ **囲い** + **技術** ] × **コンテクスト**  
NEW DRESSING = [ ENCLOSURE + TECHNIQUE ] × CONTEXT

= **テクトニック**  
TECTONIC

## 論文

分析1

### G.ゼムパーの被覆原理

Gottfried Semper, 1803-79

本論文は、19世紀のゴットフリード・ゼムパーによる「被覆原理」からモダニズム以降を再解釈する。

**建築の四要素**  
"The Four Elements of Architecture" (1851)

ゼムパーはこの四要素の中でも「囲い」が最も重要なものであるという。人間は、動物の穴を掘るという原始的な本能でも可能な行動から毛皮や植物の繊維を編んだ。そのことで、衣類や靴物を作り粗野な状態ながらも身を守った。それが、空間の囲いとして目立しや寒気の遮断としても発展した。カリブの小屋 (図) は粗野であるが、柱に築かれた編物技術の囲いがあると評価している。「囲い」は身近にある材料を使い、自分たちの手で「編む」ことで実現する。そして、囲いの技術の母は「テクトニック」として認識される。ゼムパーは、単なる囲いではなく、技術を利用してセーパークを構築していると言っている。それがテクトニックであり、自然の秩序と法則に従って誕生する物である。世界の秩序と法則を同時に体現する物で、この場合、装飾を通じて、自然の秩序を可視化しているのだ。技術によって形態や色彩を作り、全体をつくる。このように現れてくるのが「編み」である。「編み」を様々な囲いとしてでき、セーパークが存在し、素材と技術を通じて具体化されるものとしている。すなわち、式示すと、

**Semper's Dressing Theory = [Enclosure + Technique] = Tectonic**

**様式**  
"Style" (1852)

**Y = C (x,y,z,t,w, ...)**  
Y = Style  
C = Motif  
x,y,z,t,w, ... = Various different factors

と説明している。もしxがyに変われば様式も今はYであるが、全く異なるものとなる。様式は同一性を保っている。もしCが変化すればYも変化し、x,y,z,t,wが変化するとCが一定でもYが変化するのである。すなわち、制約には形式はアブストラクティを抜き、あくまでも文字Cで表現される一定の母題によって、変化後も変化前と結びついているのだ。同じセーパークや形態であっても、その建築の形成段階と存在条件によって、ある部分は別の形もなる。そして、その制作にあたって異なるプロセスである。二つ目は、芸術的な場所的・民族的な影響、気候、宗教、政治的な制約。最後に、人間の影響を含み、作品に個性的な性格を与えるものである。この人間の影響は多岐あり、制作を制約する人々を制約するものである。芸術作品の具体化に対するこの種の影響を相関によって、様式という重要な概念に意味を与える。この図は、現代は「コンテクスト」として表現できると言える。

分析2

### ゼムパーの被覆原理を引き継いだ建築家

14つの被覆建築。1作品ずつコンテクストとし、その影響によるテクトニックがあるかを文献調査する分析。  
I analyze 14 works of six architects who quote Semper's Theory. One by one, I analyze the context and the tectonic influence.

評価

### 現代建築

論文の結論に基づいて、商業建築と集合住宅が新被覆論に当てはまるのかを評価。  
Assessment based on the Findings of the research. I will assess whether commercial architecture and housing fit New Dressing Theory.

**商業建築**  
Commercial architecture

左側が旧新被覆論に近い分類。商業建築はブランドイメージを重視するものはただのビルだが、場所のポテンシャルや問題点からテクトニックが生み出されるもの新被覆論に近い。

Dress = brand image by facade  
Dressing = there is tectonic from the potential and problem of context

**集合住宅**  
Housing

集合住宅は、住戸の断続によりシステムチックになるが、アトリウムや中廊下、生活感のアプローチになり、新被覆論に近い。

Dress = Stacked home units = Modernism facade  
Dressing = The courtyard, atrium and living atmosphere will be the enclosure for the residents.

## 設計

目的

### 新被覆論を実証する

Achieving "Neo Dressing Theory"

**囲いの原点「編む」**  
weaving

Caribbean Hut  
Textile techniques as the origin of art by G. Semper

まず、囲いの原点を振り返る。ゼムパーは、「編む (weaving)」は原始的な建築の始まりだと言った。かつて、原始人は動物を編むことで、粗野な編み組のブリミティブなハットを作った。編むことは空間の囲いをつくる。「編む」に関連して、日本の織物に着目する。今回、選択した織物は4つである。四角織、小千谷織、宮古上布、結城織である。

**提案**

#### 職住一体建築

02 小千谷織  
01 西陣織  
03 宮古上布  
04 結城織

織物業界は衰退しているのが現状である。そこで、4つの地で、Work and Life (職住一体) 建築を計画する。プログラムは、織物業に携わる人がより多くなるための宿泊施設、織物アトリエである。対象者は、単身者や学生、外国人など中期滞在できる人である。同じプログラムで、テクトニックとコンテクストの影響による被覆の変化をみる。

技術とコンテクスト

### 日本の織物の技術

4つの織物の特徴をつくる織物技術を実際に学び、工程から、「blurring (ぼかす)」, "creasing (シワ)", "plecting (裂く)", and "tying (結ぶ)" があった。それらの技術を教訓とし、建築の囲いの技術に応用する。

**01 京都**

Blurring ぼかす

**02 小千谷**

Creasing シワ

**03 宮古島**

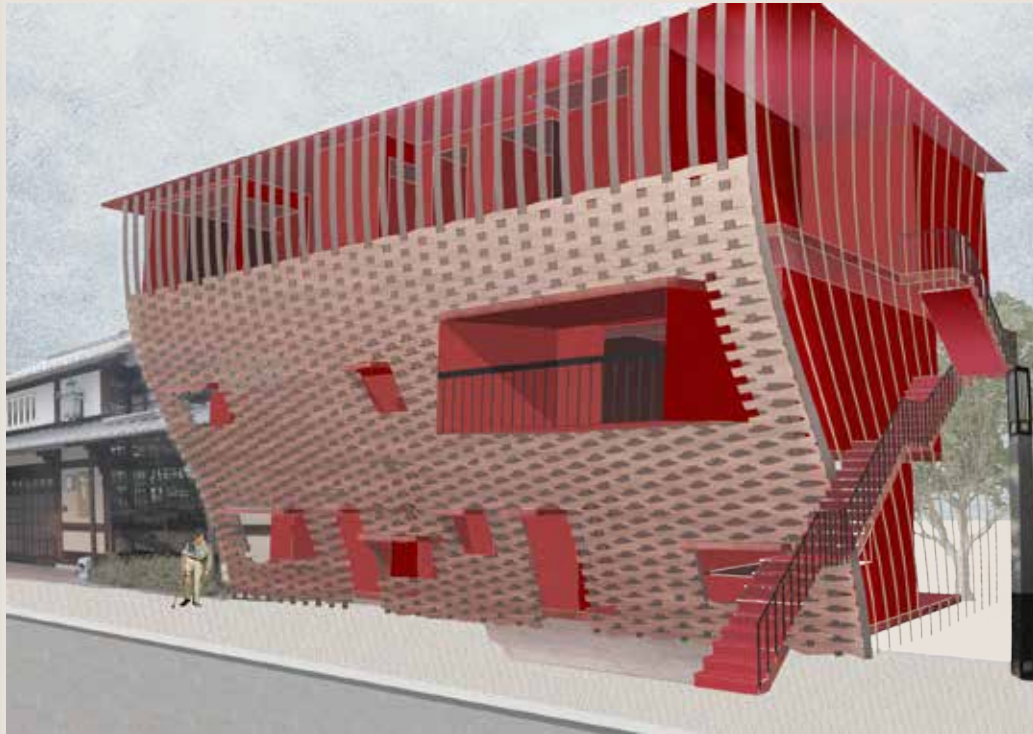
Plecting 裂く

**04 結城**

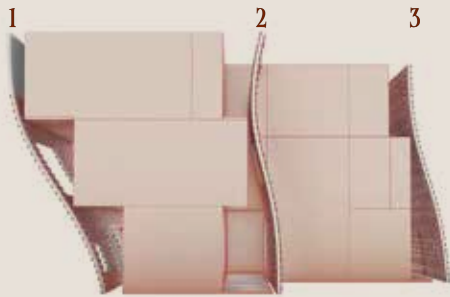
Tying 結ぶ

# BLURRING

ぼかす



blur volume

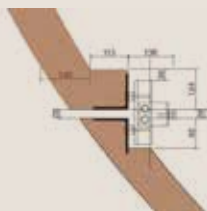


ぼかし効果のプロセス  
Blur effect process

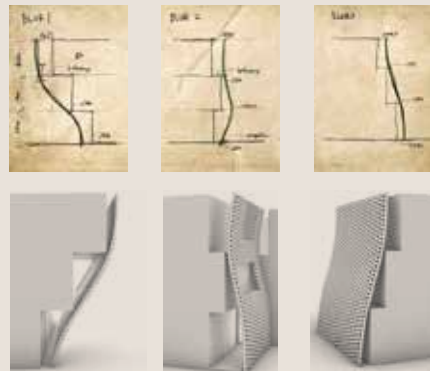


Standard longitudinal ribs are woven in a standard way. Curves change the view from the elevation. The back viewed from the opening creates a moiré. A blur effect is created. The vertical ribs are clipped by the window frame.

縦リブに編む  
Weaving



scale 1:8



# CREASING

シワ



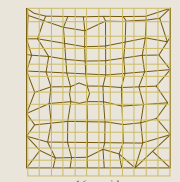
crease membrane



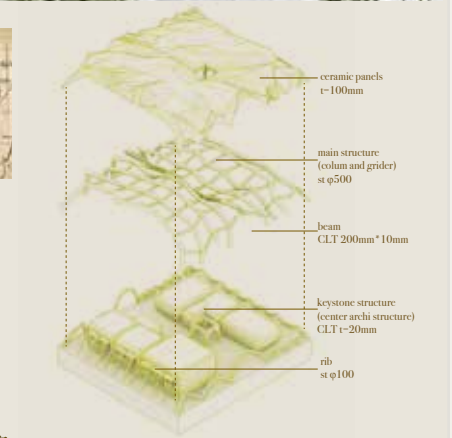
屋根と壁を一体化させるシワ  
Combine crease process



Covered with a crease membrane. The roof and walls crash together and the center creates a space. This crease is determined by the large and small volumes, the central tube, and the eaves that open to the river.



シワをつくるための要素  
Crease elements



1. Volume

2. Tube

3. Eaves

### PLAN SCALE 1:200

textile name Nishijin brocade 西陣織  
building area [ m<sup>2</sup> ] 328  
guest target Foreign tourists  
University students



### PLAN SCALE 1:200

textile name Ojiya chijimi textiles 小千谷縮  
building area [ m<sup>2</sup> ] 240  
guest target Foreigners coming to Nishikigoi fairs,  
young people and families moving to the countryside



## PIERCING

裂く



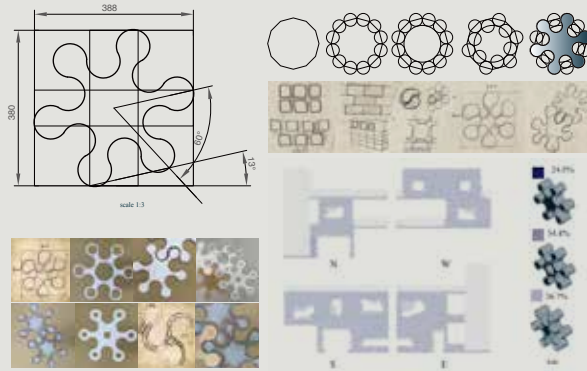
## TYING

結ぶ



# 花ブロックの概念を変える

hana-block



## ブロック壁へのプロセス

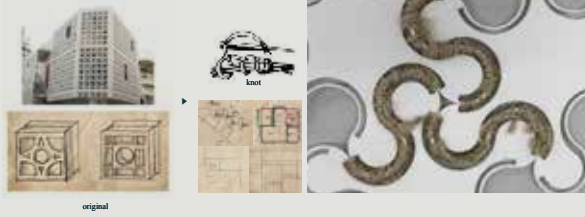
Hana-Block process



It was originally conceived as an ornament of a ramen structure. The structure was gathered in the center and made into a wall structure.

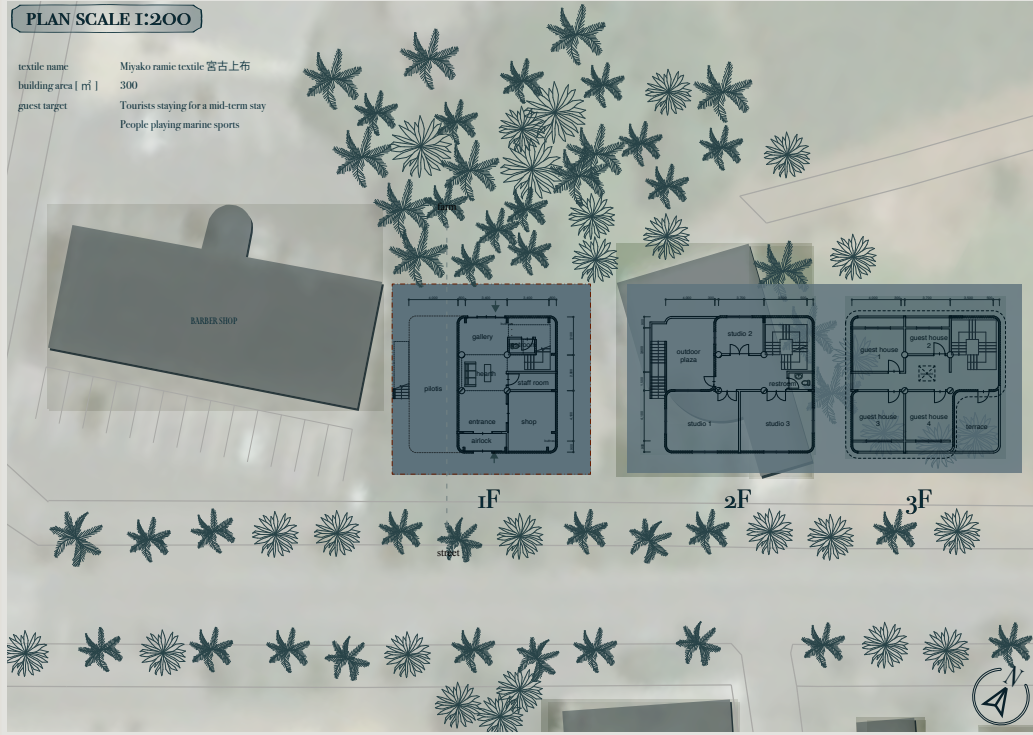
## ブロックの結び目

knotting Hana-Block



## PLAN SCALE 1:200

textile name Miyako ramie textile 宮古上布  
 building area [ m<sup>2</sup> ] 300  
 guest target Tourists staying for a mid-term stay  
 People playing marine sports



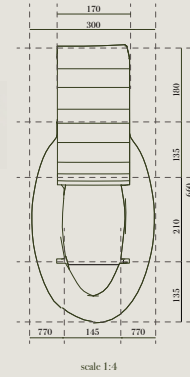
# 結ばれたチェーン

tying chain



## tying chain

Aluminum Sheet t=0.2mm  
 asphalt felt t=10mm



## チェーンを構造化させる

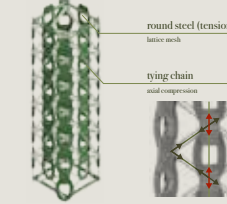
Blur effect process



Standard longitudinal ribs are woven in a standard way. Curves change the view from the elevation. The back viewed from the opening creates a moiré. A blur effect is created. The vertical ribs are clipped by the window frame.

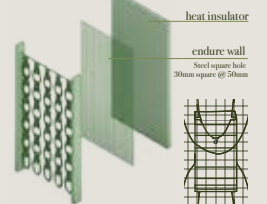
## 柱

column



## 耐力壁

wall



## PLAN SCALE 1:200

textile name Yuki tsunagi silk 結城紬  
 building area [ m<sup>2</sup> ] 198  
 guest target Singles and families moving to the countryside  
 Tourists staying for a medium term

